

令和7年度 県立岸根高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての自覚を持ち、法令遵守の観点から、公務外においても不祥事の防止に努める。	ア 不祥事防止会議、研修会を月1回以上設定し、実施した。昨年度に引き続き、所管グループが企画・運営し、内容、課題に応じた形態で、全教職員に対して意識啓発を行った。 イ 「職場アンケート」を実施する等、教職員の意見が反映しやすい取組を行った。
②職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	円滑なコミュニケーションを通して職場でのハラスメントの防止に努める。	ア ハラスメント行為の定義、ケース、対応方法等について、改めて意識するための研修機会を設け、啓発を行った。 イ 日頃から面談等を実施し、気軽に相談できる体制を構築した。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権に配慮したコミュニケーション手段の適正な利用を心がける。	ア 生活指導、教育相談等について、必ず複数名で対応するとともに、収集した情報を多くの教職員で共有する体制を構築した。 イ 生徒の人権に配慮した適切な言動を行うよう、日常業務の中で注意した。
④体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な指導をなくす。	ア 社会状況の変化をふまえて、不適切な指導を行わないよう、管理職を中心に注意を促すとともに、生活指導案件の情報共有、複数指導を徹底した。 イ 人権意識の向上に向けて、教職員対象の研修を行い、啓発に努めた。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、定期試験、成績処理、進路関係書類に係る不適切な事務処理の防止に努める。	ア 入学者選抜業務のマニュアルの再点検により、前年度までの課題をクリアし、わかりやすく事故防止につなぐことができるよう取り組んだ。 イ 業務の流れを常にチェックし、不適切な事務処理を発生させないよう万全を期した。 ウ 定期試験、進路関係資料等について、複数によるチェック体制を構築し、データ管理等の誤りがないように取り組んだ。
⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	生徒に係る個人情報を扱う際の意識の徹底を図る。	ア 個人情報の管理について、持ち出し手続きを厳格化するとともに、紛失、誤廃棄、誤配付等の事故防止に努めた。 イ 肖像権等の許諾について運用を見直し、人権保護の見地からも事故のないように取り組んだ。
⑦交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通安全への意識を高め、交通事故の発生を未然に防止する。	ア 不祥事防止研修資料等を活用し、法蓮順守を徹底した。 イ 公務員としての自覚を促し、事故発生時の対応についても指導を徹底した。